

平成 19 年度食品の安全性に関する地域の指導者育成講座実施報告

- 日時・場所：平成 19 年 8 月 31 日（金）鳥取県・鳥取県民文化会館
 平成 19 年 9 月 11 日（火）石川県・石川県庁行政庁舎
 平成 19 年 9 月 12 日（水）山口県・山口県庁厚生棟
 平成 19 年 9 月 21 日（金）香川県・香川県立文書館
 平成 19 年 10 月 22 日（月）滋賀県・滋賀県庁新館
 平成 19 年 11 月 16 日（金）愛知県・名古屋能楽堂
 平成 19 年 12 月 18 日（火）岡山県・岡山県立図書館
 平成 19 年 12 月 19 日（水）福岡県・福岡県庁行政棟
 平成 20 年 1 月 18 日（金）神奈川県・神奈川県自治会館
 平成 20 年 2 月 22 日（金）和歌山県・和歌山県自治会館
 平成 20 年 3 月 4 日（火）兵庫県・兵庫県民会館

- 参加者総計：759名（消費者、食品関連事業者、地方自治体職員など）

- 議事概要：
 - (1) 開会 司会：自治体職員
 - (2) オリエンテーション（5分）
 - 説明：内閣府食品安全委員会事務局勧告広報課職員
 - 本講習会の目的、プログラムについて説明。
 - (3) 講演（50分） 質疑応答（20分）
 - 「食品安全のためのリスク分析（食品のリスクとのつきあい方）」
 - 講師：内閣府食品安全委員会事務局職員
 - スライドを使用して講演。
 - (4) 演習
 - 「クロスロード『食の安全編』」
 - （コーディネーター）内閣府食品安全委員会事務局技術参与
 - 演習に用いるゲーミングシミュレーション「クロスロード」についてスライドを使用して説明後、参加者がグループに分かれ、実際に演習を行った。
 - (5) 意見交換

- アンケート：
 - 参加者に実施後アンケートをおこなった。結果は別添のとおり。

平成19年度 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座 開催実績一覧表

(別紙)

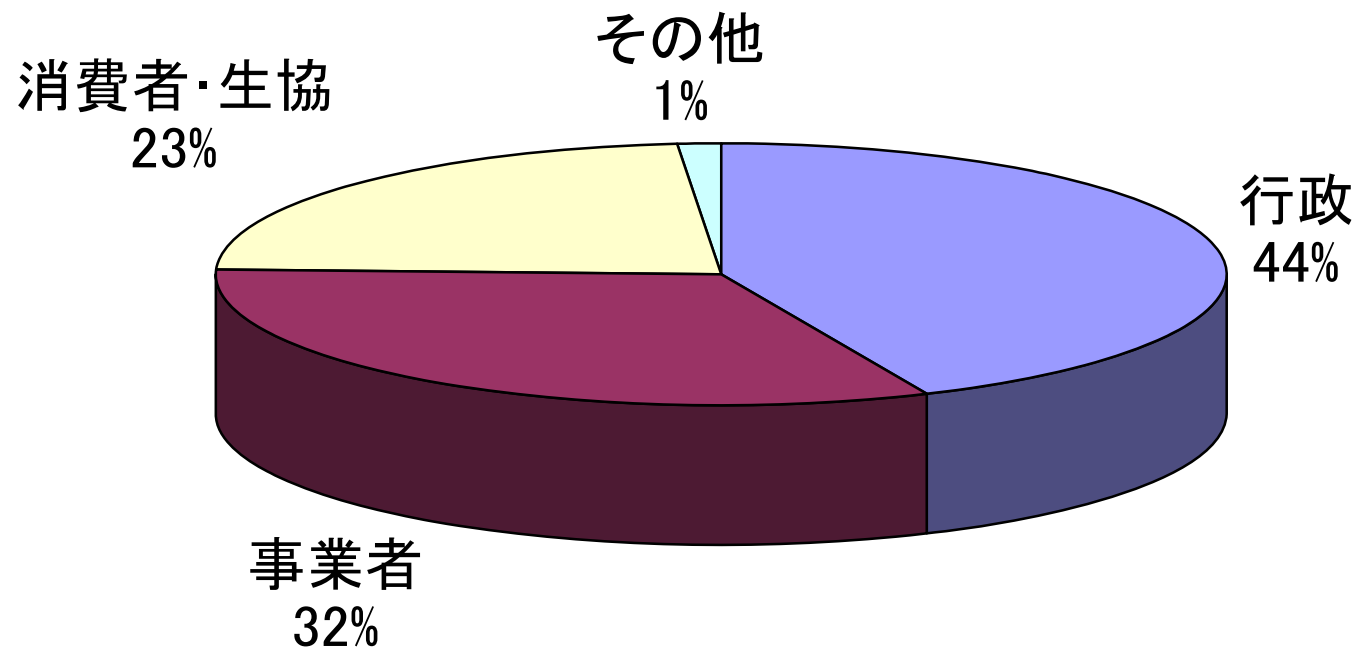
| No. | 開催地 | 主催 | 日程 | 開催時間 | 参加者数(人) | | | | | | | 講師 講演 |
|-----|-----|-----------------|----------------|-------------|---------|-----|-----|--------|-----|----------|-------|----------|
| | | | | | 合計 | 内訳 | | | | (再掲) | | |
| | | | | | | 行政 | 事業者 | 消費者・生協 | その他 | 食品安全モニター | FSC公募 | |
| 1 | 鳥取 | 食品安全委員会 鳥取県 | 平成19年8月31日(金) | 13:00-17:00 | 41 | 13 | 21 | 7 | 0 | 0 | 0 | 日野次長 |
| 2 | 石川 | 食品安全委員会 石川県 | 平成19年9月11日(火) | 13:00-16:30 | 86 | 54 | 25 | 5 | 2 | 0 | 2 | 日野次長 |
| 3 | 山口 | 食品安全委員会 山口県 | 平成19年9月12日(水) | 13:00-17:00 | 58 | 14 | 6 | 38 | 0 | 3 | 3 | 日野次長 |
| 4 | 香川 | 食品安全委員会 香川県 | 平成19年9月21日(金) | 13:00-16:30 | 89 | 39 | 18 | 32 | 0 | 0 | 3 | 小平リスコム官 |
| 5 | 滋賀 | 食品安全委員会 滋賀県 | 平成19年10月22日(月) | 13:00-17:00 | 65 | 30 | 32 | 3 | 0 | 0 | 3 | 日野次長 |
| 6 | 愛知 | 食品安全委員会 愛知県 | 平成19年11月16日(金) | 13:00-17:00 | 39 | 26 | 5 | 8 | 0 | 1 | 7 | 小平リスコム官 |
| 7 | 岡山 | 食品安全委員会 岡山県 | 平成19年12月18日(火) | 13:00-16:30 | 94 | 13 | 42 | 34 | 5 | 0 | 2 | 日野次長 |
| 8 | 福岡 | 食品安全委員会 福岡県 | 平成19年12月19日(水) | 13:00-16:30 | 85 | 34 | 44 | 7 | 0 | 2 | 8 | 日野次長 |
| 9 | 神奈川 | 食品安全委員会 神奈川県 | 平成20年1月18日(金) | 13:00-16:30 | 65 | 52 | 8 | 5 | 0 | 2 | 16 | 日野次長 |
| 10 | 和歌山 | 食品安全委員会 和歌山県 | 平成20年2月22日(金) | 13:00-17:00 | 83 | 28 | 27 | 26 | 2 | 1 | 7 | 小平リスコム官 |
| 11 | 兵庫 | 食品安全委員会 兵庫県 | 平成20年3月4日(火) | 13:00-16:30 | 54 | 25 | 18 | 9 | 2 | 2 | 10 | 日野次長 |
| 合計 | | | | | 759 | 328 | 246 | 174 | 11 | 11 | 61 | |

1会場あたり平均参加者数:

69名

※アルバイトについては、消費者に分類
 ※生産者組合等については、事業者に分類
 ※保育園・幼稚園・小中学校関係については、行政に分類
 ※短期大学・大学については、その他に分類
 ※栄養士会については、事業者に分類
 ※自治体の食の安全・安心推進協議会については、消費者に分類
 ※生産者(農業)については、その他に分類

平成19年度 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座
参加者内訳



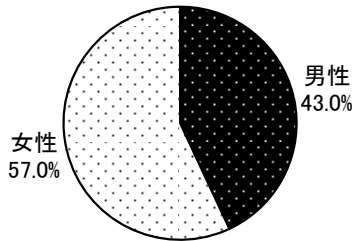
平成19年度食品の安全性に関する地域の指導者育成講座
アンケート集計表(グラフ)

参加者数:759

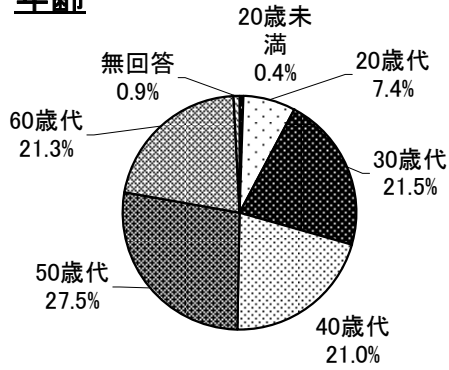
アンケート回収数:699

アンケート記入者について

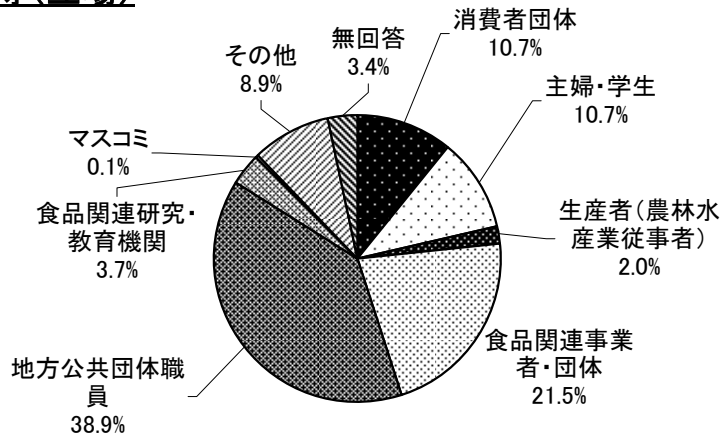
性別



年齢

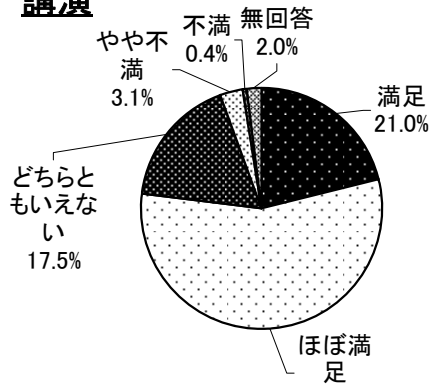


職業等(立場)

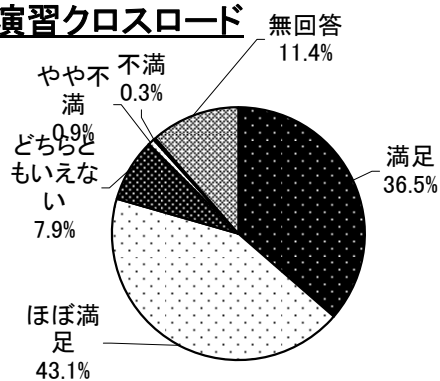


1. 今回の講座の内容はどうでしたか。

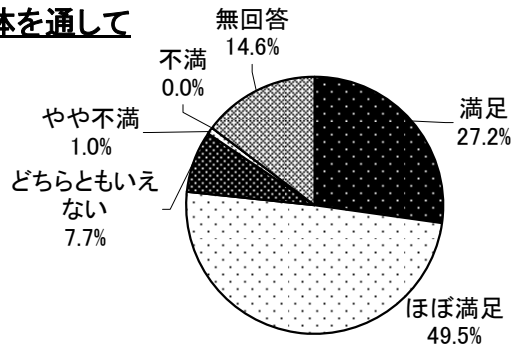
講演



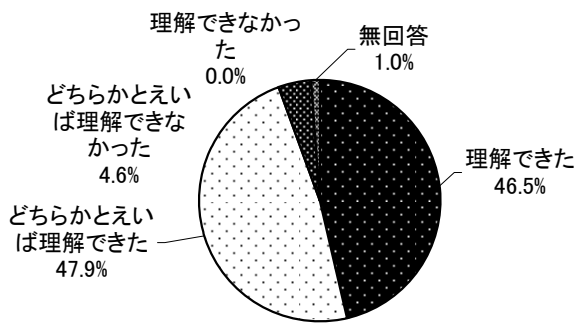
演習クロスロード



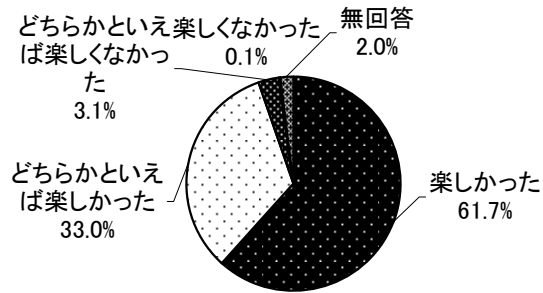
全体を通して



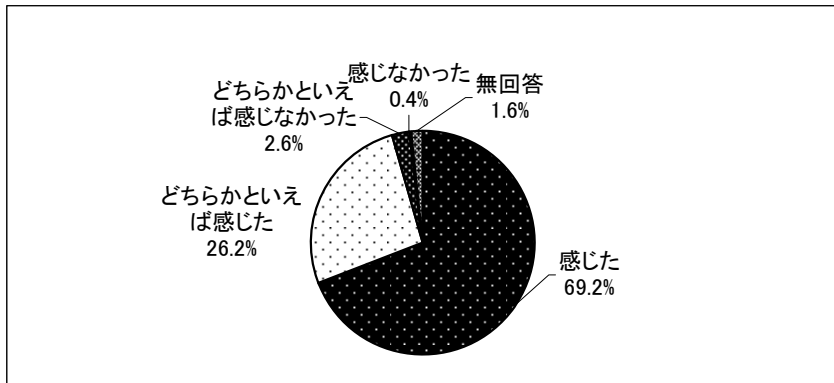
2. 講演の内容は理解できましたか



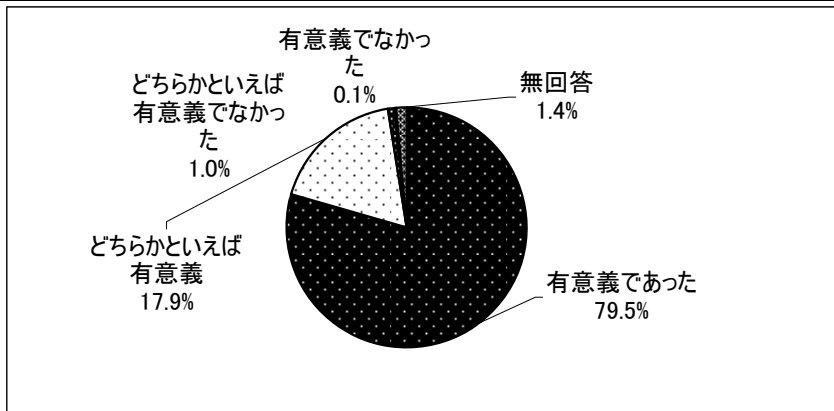
3. 演習は楽しかったですか



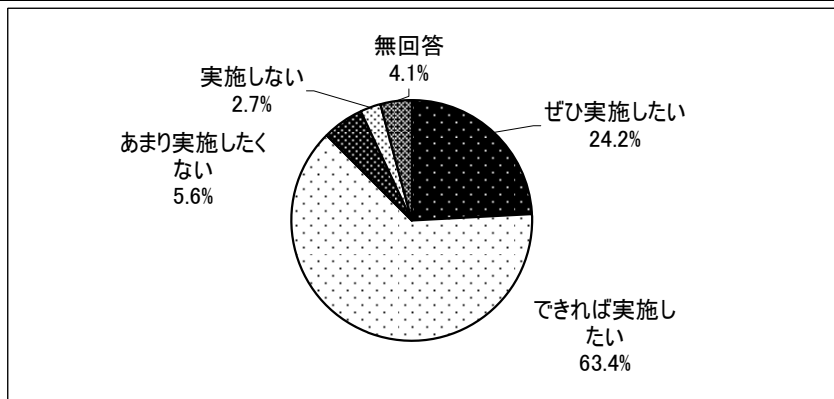
4. 演習に参加されて、1つの問題に多様な意見があると感じましたか



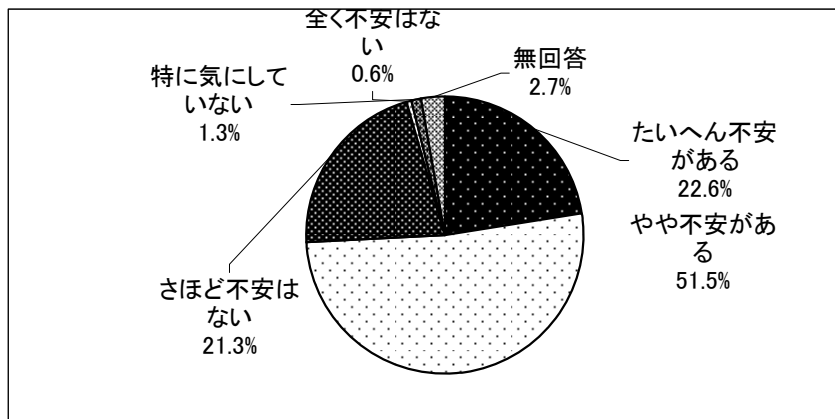
5. 演習に参加されて、他の参加者の意見をさく事は有意義でしたか



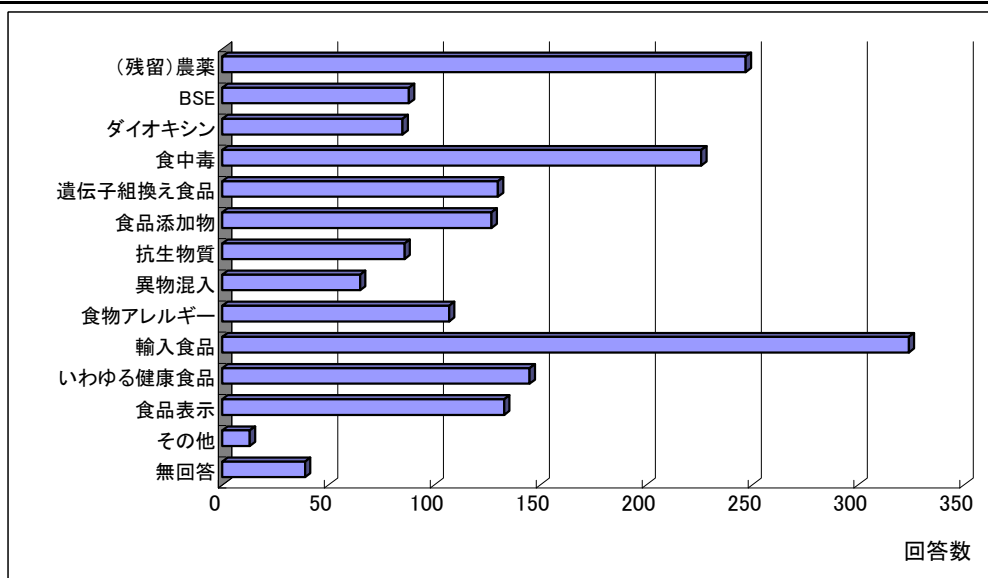
6. クロスロード「食の安全編」を今後あなたの日頃の活動で実施してみたいと思いませんか。



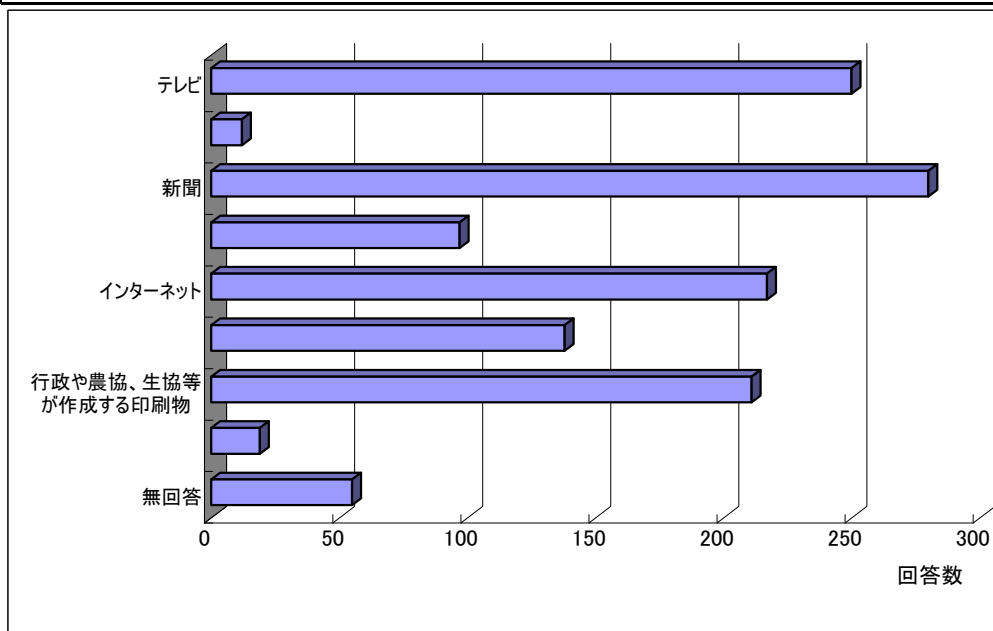
7. 食品の安全性についてどう感じていますか



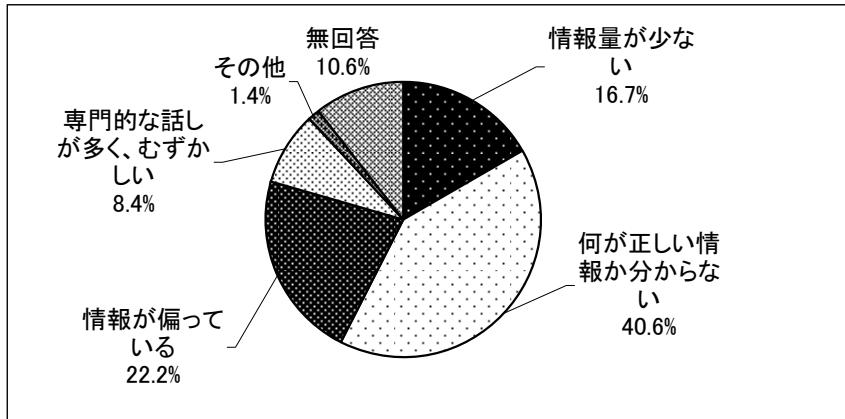
8. 食品の安全性に関して次のどの事項に不安を感じますか(3つまで)



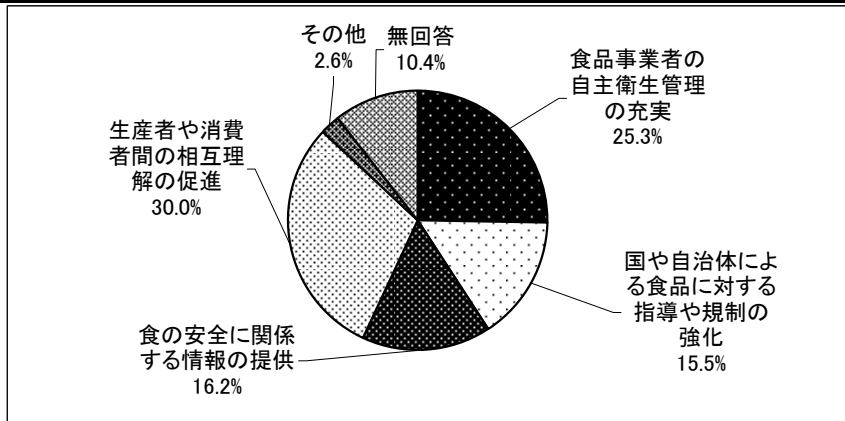
9. あなたは、食品の安全性に関する情報をどこから入手しますか(2つまで)



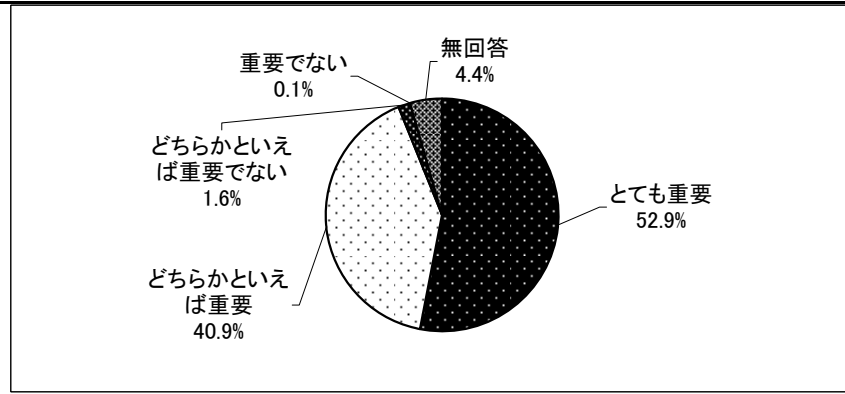
10. 食品の安全性に関する情報の内容について、どう思われますか



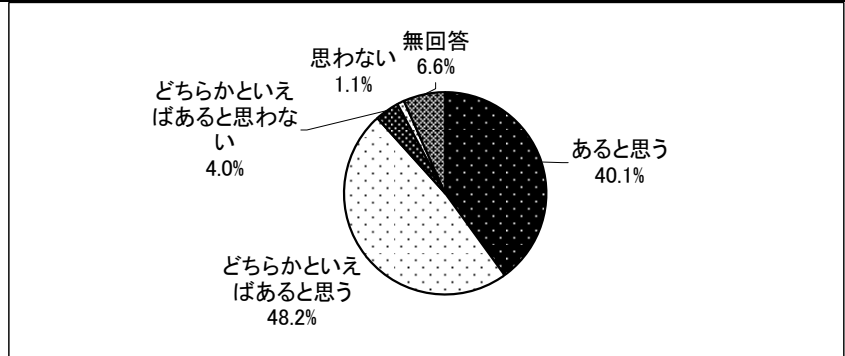
11. 食品の安全性確保のためにはどんな方法が最も効果があると思いますか



12. リスクコミュニケーションについてどう思いますか。



13. あなたの日頃の活動において、リスクコミュニケーション(情報伝達)について改善できるところがあると思いませんか。



■指導者育成講座:アンケート自由記述より

| | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成18年度から平成19年度の改善点 |
|----------|--|--|---|
| 時間割 | 【半日(午後のみ):3.5~4時間】 講義、演習(ゲーミング) | 【全日:5~6時間】 午前:講演Ⅰ、(場合によっては講演Ⅱ) 午後:演習(リスクコミュニケーション講義+ゲーミング) | ・開催時間を短くし、参加者負担を軽減 |
| 全体 | 全体的に有意義な講座であるため、実施する回数を増やすべきといった感想が各会場から寄せられた。講義と演習の組み合わせは変化があり、知識を実践にかえる点で有意義であるといった意見や、わかりやすく良かったと思える研修だった、職場に持ち帰り活用したいというような当講座を評価する意見が多かった。 一方、リスクコミュニケーションについて、何をどうしたらいいかわからない、よく理解できなかったという意見があった。また、講演の内容と演習がうまくつながらなかったという意見もあった。 | 一方通行になりがちのこの様な講習会で具体的な参加ができてよかった、説明も理解しやすかったとの意見があった。 また、目的が明確でない、指導者育成講座というねらい、目的と内容にズレがある、参加者に今後どのようなアクションを期待しているのかよくわからない、今後どのように活かしていったらいいのか悩むといった意見が各会場から寄せられた。 | ・講演前にオリエンテーションを行うことで、この講座の目的とねらいを示した。そのため、昨年度のような目的と内容についてズレがあるといった指摘は少なかった。 |
| 前半の講義 | 講義中の「リスク分析の三要素」や「リスクとつきあう」が良く理解できた、もっと講義を聴きたかったといった意見が寄せられた。一方、より専門的な話を聴きたかったといった意見や、もう少し具体例を出して話してほしい、わかりやすく親しみやすい内容にしてほしいといった意見もあった。 | 限られた時間の中でもわかりやすい講義であり、食品安全委員会の職務内容の説明も聞くことができてよかったという意見があった。 一方、約60分(講演Ⅱがある場合には、45分)間に、「リスク分析について」、「食品安全委員会の取組み」、「リスク評価の例」、「リスクコミュニケーション」と内容が濃いため、講師の話し方が早口になりがちな点もみられた。内容を絞り込むなど、伝えたい内容を特化し具体例をあげて説明すべきとの意見もあった。 | ・講演は1つに絞られ、食品安全委員会の取組とリスク分析の考え方を中心に50分の講義と20分の講義に対する質疑を行った。 |
| 後半の演習 | クロスロードを通じて、色々な人から立場による意見や考え方に違いがあるのに改めて気づき、しっかり聞くことの大切さがわかった、楽しみながら学ぶことができて有意義であったといった感想が多く寄せられた。 一方、進め方にメリハリをつけるべき、時間配分を考えるべきといった意見が寄せられた。また、クロスロードの目的やまとめなど解説の時間が十分でなかったとの意見があった。今後自らこのクロスロードを実施したいので、使用するグッズの貸し出しを行ってほしいといった要望もあった。 | 画期的な取組みであり、新鮮で有意義であったとの意見が多かった。とくに、立場を離れ、視点を変えて考えることは大切であると認識したとの意見が各会場から寄せられた。クロスロードゲームを自ら実施したいという意見もあった。 一方、回答のないゲームにジレンマを感じ、答えを示してほしいといった意見や、意見をまとめる場があってもよかったのではないかとの意見もあった。 | ・ゲーミングの後、ふりかえりの時間を取り入れた。また、昨年度にクロスロードを自ら実施したいという意見があったことを踏まえ、地域の指導者として活動するため、クロスロード実施に当たってどのような点に注意すべきかの解説をした。 ・正解のないゲームということに不満という意見はほとんど見られなかった。 |
| テーマや内容 | (19年度はテーマについての設問はなし)時期柄、中国産冷凍餃子についてなどの最新情報の解説を加えてほしいといった意見があった。 また、今後も内容を充実させ段階別にステップアップするべきとの意見があった。 | 頂いた意見は多岐に渡った。各会場から、今回の続編(講義+参加型ゲーム)や、午後の演習を発展させた形のを希望するといった意見があった。 取り上げてほしいテーマとしては、リスクコミュニケーション実施上の問題点や経験談、リスクコミュニケーション実施後の評価方法、メディアとの関わり、ファシリテーター養成、具体的なコミュニケーションスキル等が比較的多くみられた。 また、各会場とも、健康食品、遺伝子組換え食品、残留農薬、食品添加物などの分野を今後のテーマとして取り上げてほしいという意見があった。 | ・ファシリテーターの養成に関しては、平成19年度から、様々な主張を理解し、意見交換を円滑に推進する能力を養う、ファシリテーション基礎講座として、食品の「食品の安全性に関するリスクコミュニケーション育成講座」を実施しているところである。 ・リスク評価については、化学物質(農薬や添加物)を例に上げ解説をおこなった。 |
| 開催方法・その他 | 講座そのものの時間について、短い、長いとの両意見が寄せられた。また、参加者に偏りがあるので、もっと色々な立場の方が集まれるようにしてほしいといった意見や、ゲーミングにアイスブレイクの導入をしたほうがいいという意見があった。 そのほか、会場へのアクセス、照明、講師の声の聞きにくさについて意見が寄せられた。 | 講義時間については賛否両論あった。また、広く広報してほしい、参加証をなるべく早く送付してほしいなどの事前準備段階について意見があった。また、講演の内容が多岐にわたるため、講演資料だけでも先に送付して予習できるようにし、意見交換の時間を多くしてほしいといった意見がいくつかあった。その他、会場の広さ、音響、温度、照明等についての意見があった。 | ・共催で実施する自治体との連絡を密にし、企画・運営を行ったため、参加証の送付等の事前準備についての意見はほとんどなかった。 |